

平成28年度全国知的障がい関係施設長会議第4分科会  
『障がい者の権利擁護と意思決定支援について』

# 重い知的障がいあるいは行動障がいを呈する 方々に対する意思決定支援のあり方について

～具体的な実践事例を通して考えること～

宮下 智

# 👉 意思決定支援の土壌

(参考:資料1)

1. まず「相談をすること」、必ず「応答」があることを信じて。
2. 「意思表示行動」を決して否定しない。それは「自己表現行動」だから。
3. 「意思表示行動」を言語化することが「意思形成支援」である。
4. 問われているのは支援者の「意思受信能力」である。

# 👉 意思決定支援の段階

1. 具体的な行動をとるもの意思決定支援
  - ・ 食事、排泄、入浴等の有無、行事参加等の有無 etc.
2. 具体性のある物の意思決定支援
  - ・ 食事のメニュー、おやつの内容、身につける服 etc.
3. 表現された行動から推測される気持ちの同定支援
  - ・ 帰省したい、唐揚げが欲しい、髪を伸ばしたい etc.
4. 表現された行動から推測される抽象的な気持ちの同定支援
  - ・ 寂しい、怒っている、心配している、不安 etc.

# 👉 意思決定支援の勘どころ

自己選択・自己決定であると思われる行動



エンパワメントの停滞

過剰適応、思いやり、やさしさ

行動障がい、実行機能障がい

気持ちとは裏腹な行動

# 👉 気持ちとは裏腹な行動が生じる要因

## エンパワメントの停滞

- ・ 経験主義 (今までやって来たとおり…)

## 過剰適応・思いやり・やさしさ

- ・ 自分よりも人 (両親・家族・職員…) のために

## 行動障がい・実行機能障がい

- ・ 一番困っている、止めたいと思っているのは本人
- ・ 止めなければと思えば思うほど繰り返される強迫反復行動

# 👉 気持ちとは裏腹な身体①

(参考:資料2)

非行動化

行動化

51%

49%

見えない気持ち

見える気持ち

心のなか

## 👉 気持ちとは裏腹な身体②

- 心のなかで占める割合が高い気持ちが行動化されるとは限らない。
- している行動が、いつも楽しい、嬉しい行動とは限らない。
- 楽しいと感じられる行動も不本意な行動であることがある。
- “誰か止めてくれ”とSOSを伝えている行動がある。





See you again...

URL <http://homepage3.nifty.com/myojo-satoru/>

E-mail [myojo-satoru@nifty.com](mailto:myojo-satoru@nifty.com)